

2011年2月26日 (土)

フジサンケイビジネスアイ

K -corporation

安心・安全・確かな検査 高精度赤外線カメラを使用した外壁診断サービス

建築物の外壁を診断するK-corporation (東京都江東区、代表取締役・渡辺健一 朗氏=写真)は、従来の足場を組み「打診 棒」で壁を叩いて確かめる外壁全面打診 ではなく、高精度赤外線カメラを使用し た外壁診断サービスを展開中だ。

この調査方法は、足場を設置する必要がないため、資材運搬にかかる C O 産発生の抑制による環境面への配慮や、調査コストを約¼~¼削減、作業日数の大幅短縮を図る事ができる。これによって、プライバシーの配慮や建物の外観を損なわずに調査が可能。また、外壁の調査だけでなく、大規模修繕前の事前調査にも使用することで、ピンポイントの修繕を行いコストを削減することもできる。

2005年6月15日には東京都中央区の雑居ビルで、縦5流、横4流、重さ約900%



でのタイルを貼り付けたコンクリートの外壁が崩れ落ち、通行人の女性2人が負傷、下に停車中の乗用車は潰れてしまう

K-Corp

事故が起きた。落下の危険を含んでいる 建物はいまだに存在する。このような背景から、建築基準法が改正され不特定多数の人が集まる学校や体育館、マンション、ホテル、オフィスビル、病院、劇場、百貨店、工場など、生活に密着している建築物には、定期調査時に外壁を部分打診し、異常があれば外壁の全面打診調査が義務付けられた。さらに完成もしくは前回の改修から10年超過した建物には、外壁の全面打診調査を法律で義務付けるなど、検査基準も高くなってきている。

K-corporationは「安心、安全、確かな検査」を企業理念に、高齢者や子供達が安心して暮らせる街づくりに貢献し、建築業界を盛り上げる企業として注目が集まっている。

【問い合わせ】 株式会社K-corporation ☎03·5858·9573

URL: http://www.gaihekishindan.co.jp/